

第四回男のフェスティバル

■分科会 【トークセッション】

「オチコボレ男とオチアガリ女の危ない関係」

「男の生き方の多様性」が言われるようになって久しいけれど、男らしさに縛られてなかなかコースから降りられない男たちがまだまだ結構多いみたい。そんな中、他人の評価なんか気にせず自ら進んでノンシャランにさっさとコースから降りた“確信犯的オチコボレ男達”。一方、永田町の権力欲と支配欲と所有欲の塊みたいな封建オヤジを向こうに回して、孤軍奮闘している“ハイパワー・スーパーオチアガリ女”（衆議院議員 辻元 清美さん）そんな両者が21世紀のジェンダーフリー社会に向けて、何でも有りの本音のトークセッションをしたいと思っています。さて、どうなりますことやら、請うご期待！



だめ連カイワイの人
細谷 実さん

東京オリンピックでナショナリズムにさいしょに出会った狭間世代。今年、和光大で男性学の講座を担当。だめ連の雑誌「にんげんかいほう」の創刊の頃から、だめ連カイワイで交流などに参加。目下、明治時代の男性学の言説「だめ」克服=抑圧の言説について考えている。

「痛快！規格外れの男たち！」

「くたばれ封建オヤジ！」



関西育時連
梶田 淳平さん

1959年生まれ。84年大学卒業後、京都市の精密機械メーカーに就職。6年半の会社勤めの後、第二の子誕生を機に退職。専業主夫、アルバイトを経て92年より豆腐店「天気屋」を営む。「男も女も育児時間を！関西連絡会」の創設時からのメンバー。



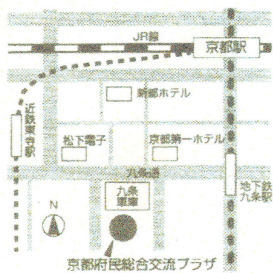
社民党 衆議院議員
辻元 清美さん

1960年生まれ。早稲田大学教育学部卒業。83年「ピースポート」を設立。92年エイボン女性大賞教育賞受賞。96年土井たか子さんに推され、衆議院選挙に立候補し、当選。98年国会でNPO法を成立させる。現在は、衆議院科学技術委員・安全保障委員・社民党広報委員長をしている。



メンズセンター会員
吉田 清彦さん

1944年生まれ。神戸外大中退。大学に7年在籍。後半3年は全共闘。その後、パートナー喫茶学校講師などを経て、現在は、様々なネットワーク活動のかたわら、「家事としての男の料理教室」の講師などで生計を立てている。



- 開催日 9月12日
AM 10:00~1:00
- 会場 京都府女性総合センター
2F第2セミナー室
- 参加費 1500円
- 企画・連絡先 中津 順
0726-75-4649